



海辺・川辺調査レポート

※このフォームをご利用いただくか、ご自分で作成していただいて構いません。

■ 名 前 (ふりがな)	山見 友哉
■ グループ名	
■ 学校名	南淡町立 北阿万小学校
■ 学 年	小学校 5 年
■ 年 齢	10 歳 (H4. 9. 25 生)
■ お手伝いしていただいた方の名前	山見 嘉啓

■ レポートした場所	兵庫県三原郡南淡町沼島
■ レポートの題名	ぼくの大好きな沼島の海辺
■ 内 容	<p>ここは、兵庫県最南端のはなれ島「沼島」です。周囲 10 kmの小さな島でお父さんのふるさとです。ぼくたちは、淡路島に住んでいます。沼島にも家があるので、時々魚釣りに行きます。写真はその家のすぐ近くの船上げ場で撮ったもので、古い写真は、お父さんが6歳でおばあちゃんが4歳の時(1964年12月)に撮ったので、今から40年前の写真だそうです。</p> <p>そこで、今のぼくと妹と一緒に映っている写真を比べてみると、とても変わっているのがわかります。まず、船(一本釣り)の大きさと形がちがいます。コンクリートの防波堤が沖の方まで、とても長く大きくなっています。昔の石積みの防波堤がとても景色にあって海にやさしく感じます。</p> <p>お父さんが子供の頃は、そこでよく魚釣りをし、夏はうなぎがよく釣れたそうです。でも今は、うなぎの住める穴がなくなって釣れなくなったのが残念です。今の写真の右上の建物が、海が埋め立てられて建てられた、下水処理場で、沼島の民家の全ての下水がきれいな水にされて海に流されます。ぼくが小学校1年生のときはとても水がきれいにすんでいます。そして、海にハップウスチロールや白い買い物袋などが浮いていません。沼島の人たちが生みのそうじをしているためだと思いました。写真の左上の建物は、今年の7月に新しくできた定汽船乗り場です。きれいなターミナルがあって、その中には、きつぷ売り場やトイレもあります。この施設ができたおかげでぼくたちが近くで釣りをしてトイレ</p>

に行きたい時も淡路島に帰る時もとても近くなって、とても便利になりました。お父さんに昔の話を聞くと、昔はよく貝とりや岩場での魚釣りが毎日のようにできたと話をしてくれました。ぼくはその時、お父さんがうらやましく思いました。そして、そんな昔の沼島にタイムマシンがあったら行ってみたいです。これからもきれいな海がいつまでも守られていつまでも魚がたくさん釣れる沼島であってほしいです。

■ 写 真 名 前 _____

※写真や資料で、自分のもの以外を使用する場合は、必ず、何の資料か、誰の写真かなど、連絡先や住所などをメモして保存しておいてください。公表する際に、必要となります。

※本文（内容）と写真は、セットとして、メールで送信するか、郵送してください。

※この用紙以外でも構いません。

